

第3回中区まちづくり懇談会 会議要旨

- 1 開催日時 令和元年12月7日(土) 15時～16時半
- 2 開催場所 中区役所3階 第3・4会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員(15人中11人出席)
増矢座長、岡山委員、久保田委員、近藤委員、佐藤委員、相委員、臺委員、高本委員、シリ委員、藤原委員、若狭委員
 - (2) 事務局(市)
区長、副区長(兼市民部長)、建設部長、厚生部長、厚生部医務監、地域起こし推進課長、地域起こし推進課課長補佐
- 4 議題
「中区のまちづくりアクションプラン(素案)」について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者
 - (1) 一般傍聴者 2名
 - (2) 傍聴者(報道関係) 0名
- 7 会議資料
 - (1) 議事資料
「中区のまちづくりアクションプラン(素案)」について
 - (2) 参考資料
「地域の主体的な取組」アンケート結果

8 発言要旨

〔開会〕

〔「中区のまちづくりアクションプラン(素案)」について〕

増矢座長

それでは、議事を進行する。

まず、議事「「中区のまちづくりアクションプラン(素案)」について」である。

それでは、説明をお願いします。

事務局(中区地域起こし推進課長)

(配付資料により説明)

増矢座長

ただいまの事務局からの説明について、修正や追加・削除等の御意見はあるか。

シリ委員

「滞在型観光メニューの充実」について、外国人観光客の滞在が少ないことはこの懇談会でも取り上げた内容であるのでしっかり取り組んでいただきたい。

事務局（地域起こし推進課長）

市全体や近隣市町、県とも緊密に連携して取り組んでいく課題であり、その中で区でも可能な取組を行っていききたい。

佐藤委員

「多文化共生の推進」について、現在でも特に言葉の問題から外国人労働者と地域が関わりを持っていない問題があるが、国の方針として外国人労働者の受け入れ拡大を図ることから今後増々顕著化してくるのではないかと考えている。日本語教室など外国人労働者と地域の壁を取り除くような取組をしていくことが必要ではないか。

事務局（中区長）

広島には二葉中学校と観音中学校に夜間中学校がある。元来は、義務教育を受けることが出来なかった日本人が対象であったが、現在はほとんど外国人の方が通われている。この問題は区のみではなく市・県・国が連携して取り組むべき問題であるが、その中で区でも可能な取組を考えていきたい。

佐藤委員

舟入公民館などで語学を学ぶ活動をされている団体がある。今後もそういった活動が増えていけばよいと思う。

シリ委員

日本はまだまだ英語が弱いと感じている。外国人労働者が働くだけで帰国してしまうのではなく、まちに出たり地域と交流するなど永住してもらえる環境をつくる必要があるのではないか。

増矢座長

定年後の元気な高齢者の社会進出と結び付けて何か活動が出来ないか。

事務局（中区長）

公民館活動などの取組を追記できないか検討したい。

若狭委員

「区民が主体となった大規模イベントの開催」について、現在具体的なものがあるのか。

事務局（地域起こし推進課長）

現在これといったものはない。区民が主体となったイベントが出来ないかと考えている。たとえば、「地域芸能発表会」を多くの区民の方に御参加頂けるよう気運を高めながら、バザーやお祭りなど他の要素を取り入れて大きなイベントとしていくことができないかと考えている。

若狭委員

そういったイベントを行う場所として考えられるのは、旧市民球場跡地になるのではないかと。

跡地には現在の計画ではステージも造られることになっている。大きなイベントの合間にもこの場所を利用して、毎日のように地域のイベントが開催されるように、行政若しくは新たな団体を受け皿とした仕組みづくりをお願いしたい。

若狭委員

「安全・安心なまちづくりの推進」に関連して、中心部の商店街では、これまでは女性をスカウトする行為が目立ったが、最近では居酒屋への客引き行為が目立つ。こういった行為を取り締まる取組をお願いしたい。

また、商店街が設置する防犯カメラの老朽化が目立つため、補助の仕組みの検討をお願いしたい。

事務局（地域起こし推進課長）

客引き行為については、流川・薬研堀地区の健全で魅力的なまちづくり推進協議会の議論の中でもそういったお話をいただいた。来年度から、市の安全なまちづくり5か年計画策定の検討が始まる。その中で、地元商店街や警察、行政が連携した取組を考えていきたい。

防犯カメラの設置について、ここに掲げている取組は町内会・社協・防犯組合対象の設置であり、商店街の防犯カメラ設置については、現在、市には補助制度が無いが、御意見は所管課に伝えたい。

佐藤委員

中心部では色々なイベントがあるということから中区では子供祭りが無くなった。新たなイベントを行うということであれば、子ども会としても積極的に協力したい。

事務局（中区長）

中区は大きなイベントや企業が行うイベントもあるが、地域が主体となった大きなイベントがない。

行政が主体となると予算の問題があり長く続けることが難しい。区も係わるが、地域が主体となったイベントを行うことが出来ないかと考えている。この懇談会でもご検討いただければと思う。

近藤委員

現在、地区（学区）社協の拠点が無いところがある。拠点として、小学校の空き教室を利用できないか。

事務局（中区長）

法律で学校内に設置することはできないことになっている。また、中区の小学校は児童が増えており、空き教室はほとんどない状態である。

近藤委員

学校には法律で整備できないということであれば、公民館や集会所など他の施設を拠点とすることを検討して欲しい。

事務局（中区長）

検討したい。

増矢座長

イベントを行うのであれば、是非、エリアマネジメントの手法を活用して、収益を上げるようにして地域活動に補填できるような仕組みにして欲しい。

事務局（中区長）

そのとおりであると思います。検討したいと思います。

臺委員

マンションが増加し、町内会加入率が減少している課題がある。また、安心・安全なまちづくりを行うにも町内会など自治組織がしっかりしている必要がある。そのため、管理組合が町内会費を徴収することができるようにするなど、マンション居住者が町内会に加入しやすい仕組みづくりをお願いしたい。

相委員

「事業所と町内会等が連携した防災活動の充実」とあるが、これについては、区の方から事業所に働きかけを行うのか、若しくは、自主防災組織から行うのか。

事務局（地域起こし推進課課長補佐）

これについては、現在決まったものがあるということではなく、防災のみならず地域貢献について、事業所の強みや地域の求めることについてのマッチングを、行政も一体となって、今後取り組んでいきたいという趣旨である。

藤原委員

「保健、医療、福祉の関係団体と地域団体等が連携・協働するネットワークの構築」について、保健師の地区担当制の強化について教えていただきたい。

事務局（厚生部医務監）

保健師の地区担当制の強化については、担当保健師が地区に責任を持ち、枠組みを超えて様々なサービスに繋げるように調整を行っていくということです。

藤原委員

「地域における生活支援活動の充実」について、新規となっているが、新たなボランティアグループを立ち上げるということか。

事務局（厚生部医務監）

新たなグループではなく、現在は障害者・高齢者・子どもへの支援がそれぞれ別々となっているが、それらを繋いでいくということを考えている。

事務局（副区長）

東区役所では既に組織改正で「地域支えあい課」が出来ているが、令和2年度から他の7区でも同様に組織改正が実施されることになっている。

増矢座長

「魅力ある歩行空間の整備」について、具体的にはどのようなことを考えているのか。

事務局（副区長）

中区には魅力的な水辺空間が多くある。そういった資源を生かしてたたずむ空間を整備するなど回遊性を高める活用をしていきたい。

増矢座長

広島は橋が多く、歩行空間として分断されているところも多い。橋の下をアンダーパスにするなどより良い歩行空間を検討して頂きたい。

若狭委員

全国的に中心部は車社会から歩行者中心に変化している。車の通行の抑制や駐車場の整備などにより地上は歩行者中心として整備するなど思い切った思考の転換を図っていただきたい。

佐藤委員

中心部の建物が取り壊され駐車場となっていく「スポンジ化」が進んでいる。区ではなく市の施策かもしれないが、再開発を契機に建て替えが進んでくると思われるが、そういった土地を活用するため、土地所有者同士の繋がりを図る取組があっても良いのではないか。

また、歩行空間の整備に関連して、銀座の歩行者天国の例があるが、並木通りを歩行者天国とするなどの施策の実現性はどうか。

事務局（中区長）

歩行者天国は、それだけの施策としての実現は難しい。歩道を埋め尽くすほどの歩行者がいるのかということになる。ドリミネーションの期間に平和大通りを歩行者天国とする検討があるようだが、国道2号高架の延伸などの施策により交通量の分散化を図れば、今後可能となるかもしれない。

また、再開発に関しては、いくつかの地域で地権者同士の話が進んでいると聞いている。

若狭委員

並木通りを歩行者天国としてトランクマーケットを拡大しようと取り組んだことがあるが、それだけでは難しかった。ただ、芸術作品の展示などと合わせた形であれば実現が可能であった。

並木通り・裏ぶくろ・アリスガーデンの地域を含めてエリアマネジメント組織を立ち上げようとしており、今後は、エリアマネジメントの取組として、そういった活動に取り組んでいきたいと考えている。

増矢座長

その他どうだろうか。

一同

（特に意見等なし）

増矢座長

ないようであれば、本日の懇談会はここまでにしたい。